

建設産業委員会

■今定例会の審査結果

審査の結果、議案3件について全て可決しました。

給水制限対策の中間報告について

平成29、30年の冬期間に連続で、片瀬・平泉寺水系を対象に給水制限が行われ、さらに一部地域では断水が発生したことを踏まえ、理事者からは特に影響のあった、猪野口地区、片瀬地区等に対して、新たな配水管や加圧ポンプの設置等、即効性のある短期的対策を講じ、この対策により、当該地区において、水圧の安定化が図られるとの説明がありました。

中長期的な水源確保の対策として、現在、実施している勝山市水道事業基本計画変更業務の進捗状況の報告を受けました。

また、勝山市の水道水源の大半をまかっている地下水について、規制等を含めた対策について審議するため設置された、勝山市水道水源保護審議会の第1回の審議内容についても報告を受けました。

委員からは、市民にとって不公平の

ないよう、対策を早急に実施してほしいとのことでした。

移住関係補助要件の見直しについて

移住促進を目的として、平成29年度に多くの移住関係補助金を設定しましたが、「補助申請後5年間の継続居住」が補助要件となっており、要件を満たさなかった場合、補助金を返還することになっていきます。1年余りこれらの補助制度を運用する中で、この要件が厳しく、移住者の方が申請をためらうことになっているとの意見が多くありました。

そこで、他自治体の移住補助制度を参考にし、適正な補助要件の見直しを検討されました。

(見直し内容)

補助申請後5年間の継続居住を3年間に短縮します。平成30年10月以降に改正を予定しています。



平成30年度 夏のイベントの結果について

本年度の夏のイベントは8月10日、14日の勝山灯りまつりを中心としたイベントを開催しました。

8月11日には弁天緑地にて初めて野外フェスタ「KACCHAMA MUSIC FESTIVAL 2018」が開催され、勝山高校日本文化部をはじめ、ジャズやロックなどの演奏、およびダンスイベント「遊ボッサ」が同時開催されました。

また、大清水広場ではインスタグラムを活用した「おしゃれ&浴衣まつり」が開催されました。

8月12日には大清水公園にて芸能発表、民謡まち流し、盆踊り大会があり、中央公園では子どもたちの灯りまつりが開催され、13日に太鼓演奏、14日にチェロ演奏がおこなわれました。

来場者は8月14日の納涼花火大会も含めると、この期間に約1万5千人の方々がまちなかに訪れていただきました。

理事者は、「今後、関係機関からの聞き取りや協議をし、来年度の夏のイベントに繋げたい」とのことでした。

